

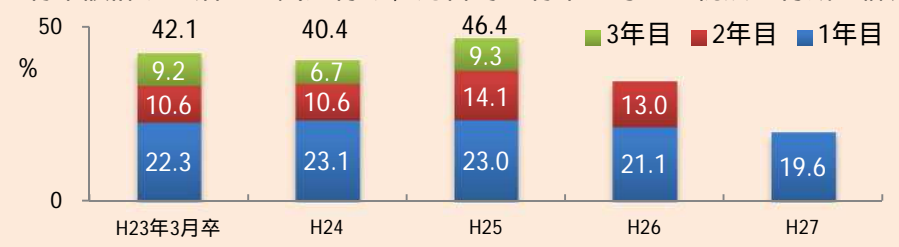
## 【現状】

### (1) 全国的な傾向

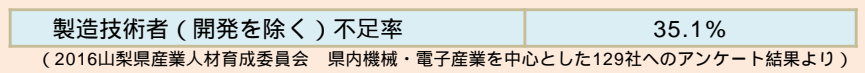
- 学校から社会への円滑な移行に課題
- ・社会的・職業的自立に必要な能力や態度を身に付けるキャリア教育の普及・促進が必要
  - ・「社会を生き抜く力」を養うためには、多くの人と関わる体験活動が重要
- 産業教育においては地域や産業界との連携が不可欠
- ・産業現場等における長期間の実習等の実践的な学習活動をより一層の充実が求められる
- 自国や地域の伝統・文化を尊重する姿勢の育成に資する教育が重視
- ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度の育成 (2017学習指導要領)
  - ・地域の持つ教育力を活用することは地域への愛着を高揚

### (2) 本県の傾向

将来設計や生活との関連付け、総合的に将来を考える視点の育成に課題

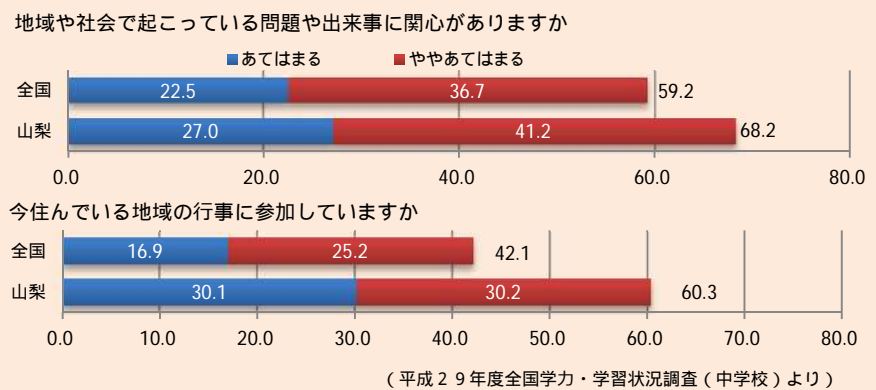


機械・電子産業においてAI・IoT等の新分野への展開を目指す企業が増え、それを支える人材が不足



小中学校においては、地域や社会への関心は高い状況

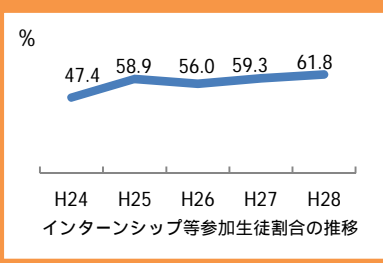
- ・山梨の未来を担う人材育成につなげることが重要



## 【対策】

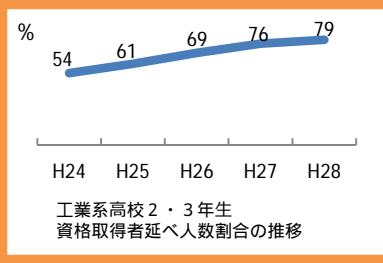
### (1) 段階的なライフプラン指導と体験型学習の推進

- ライフプラン小中高連携事業
- ・小中高の各段階のライフプラン指導計画の共有化
- ライフプランニング力育成事業
- ・山梨で暮らす視点からのライフプラン講座の実施
- 高校生体験型学習推進事業
- ・確かな人生観と望ましい職業観・勤労観、社会参画意識の高揚を図るインターンシップ等の体験学習の実施



### (2) 実践的な職業教育

- 工業系高校生実践的技術力向上事業
- ・企業実習や企業技術者による授業の実施
  - ・長期企業実習
- スーパープロフェッショナル・ハイスクール(SPH)
- ・数値制御ロボット技術を活用し、科学的根拠に基づいた論理的思考力や技術力向上
- 専攻科(H32開設)
- ・基幹産業である機械・電子産業の人材育成



### (3) 郷土愛や地域への愛着を育む活動の更なる充実

- ・教材「山梨に生きる」(高校)、「ふるさと山梨」(小・中)を活用し、地域の産業や文化を知る学習の推進
- ・県内企業関係者と教職員との懇談会、県内企業や大学と連携した教育の推進を通じて、教職員の地域人材育成に対する意識の高揚

<数値目標>			
ダイナミックやまなし総合計画			
項目	H26(基準)	H31(目標)	H28(実績)
工業系高校2・3年生の技能検定等の資格取得者延べ人数割合	69.0%	74.0%	79.1%
新やまなし教育振興プラン			
項目	H24(基準)	H30(目標)	H28(実績)
各体験プログラムの「生徒評価シート」において「有意義である」と回答する割合	---	90%	97.0%